

地域ぐるみで「体験の風を起こそう」運動推進事業

「さくらフェスタ」

1. 趣旨

富士見地区をはじめ前橋市及び周辺地域の人々に施設を開放し、交流の家の年度のスタートを知らせる。体験活動の意義や重要性を深めるために、施設内で咲いている桜の観賞や体験活動を提供する。

2. 事業の概要（期日と参加者）

	内容	期日	参加人数
1	オープニングセレモニー ササビーとのふれあいタイム 赤城山スタンプラリー	4月2日	81名
2	赤城山スタンプラリー	4月3日～8日	94名
	合計	7日間	175名

3. 企画運営のポイント

第1駐車場前、旧守衛所に受付を設けて、消毒や検温を用意し、新型コロナウイルス感染症対策を行い、体験活動を提供する。

4. 事業の様子



「新型コロナウイルス感染症対策」



「市立前橋高校吹奏楽部演奏」



「ササビーとの記念撮影」

5. 成果と課題

(1) 成果

- ①事前の体調確認と検温、消毒を受付で行い、感染症対策に配慮して実施できた。
- ②市立前橋高校吹奏楽部の演奏が工夫した内容だったため、参加者が演奏を楽しめた。

(2) 課題

- ①赤城山スタンプラリーのチェックポイント配置箇所は、一方通行で行けるようにするなど、安全面の改善を図る。
- ②雨天時等は受付場所を事務室前にし、そのことをチラシにも掲載する。

担当 主任企画指導専門職 渡邊 秀幸